

すずらん通信

Vol.58
令和6年
8月2日
発行

フリースクール等連携協議会

&不登校相談会

6月8日、今年度最初の連携協議会と相談会が開催されました。協議会では、「学びの多様化とこれからの学校の在り方」というテーマで、4人程のグループになって協議をしました。協議をするに当たって、神奈川県大和市で行われている学びの多様化学校（不登校特例校）を視察した県教育委員会の方の話があり、その中で、「不登校の子どもはいろんな事を考えていて、特になぜ皆と同じようにしなければダメなのか？など『なぜ、なぜ』が多々みられる」と仰っていました。

それを踏まえて、協議では白熱した議論が飛び交いました。中村のいたグループでは、校則が今の時代には合っていないのではないかということと、遊びから学ぶ・学びは生活の中にあるという話が出ました。

また、午後からの不登校相談会は、141名・107組・136件の相談がありました。やはり年々不登校の子ども数が増えているのが現状です。（中村 鳴美）

日本教育政策学会シンポジウム

7月6日、帝京大学にて、日本教育政策学会公開シンポジウムに登壇をいたしました。初めての試みでしたので、緊張しっぱなしで何が何だかわからないうちに終わってしまいました。それでも、副理事に作ってもらったパワーポイントを活用して、フリースクール鈴蘭学園の成り立ちや現状、これから先のことをお話しました。参加される先生方は30人程と事前に聞いていましたが、当日には80人程に増えており、更にガクガクとなりました。順番も3番目に話す予定が、なぜかトップバッターとなり気を失いそうになりました。後半は質疑応答で、慣れてきたのか、こちらの方はいつものしゃべりでペラペラと話し、最後は大きな拍手をいただきました。このシンポジウムお声がけ下さった立命館大学の武井先生、貴重な場をいただき本当にありがとうございました。一生の思い出としたいと思います。

（中村 鳴美）



親の会報告

7月28日（日）に鈴蘭学園において親の会を開催しました。今回は、相模原市青少年相談センターより社会福祉主事の方を講師として「スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについて」と題して、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーがどのような事を行っているのかをお話ししていただきました。

この二つの職種（立場）は知っているようで知らないのと、保護者の方々にとっても曖昧な存在かもしれません。したがって、今回はその曖昧な部分が少しは取れて、理解が深まったのではないかと思います。

「チーム学校による支援」についてもお話ししていただきました。しかし、「チーム学校」とは言うものの、教員間の意思疎通がなかなかうまくいかないことと、保護者さんとの連携、情報共有も簡単には進まないのでは？と私は思いながら話を聞いていました。「チーム学校」を形成し、その中での意思疎通や連携をうまく進めるためには、今回のような場が大切なのではないのかなと思いました。

参加していた保護者の方々も、今まで気になっていたことを質問でぶつけたり、保護者同士で意見を話し合ったり、充実した時間となったようです。今後も、保護者の方々と共に考えていける場を作っていけたらと思います。（桑原 和也）

ボウリングお楽しみ会

7月5日、お楽しみ会で1年ぶりにボウリングに行きました。今回は3名の児童が参加してくれました。鈴蘭学園自体にはもっとたくさんの児童が在籍していますが、お楽しみ会に参加する児童はいつも少数です。やはり人混みや慣れない所への外出には抵抗のある子が多いようです。

3名のうち2名は初めてのボウリングでした。ボールの持ち方と投げ方だけは簡単に説明し、あとはルールなど難しいことを考えず転がせばよいと伝えました。もちろん最初はうまくいかないのですが、試行錯誤と研究をくり返し、少しずつ上達していくのが見ていてわかります。やがてスベアやストライクが出るようになるのです。でも、ちょっと疲れて集中力が切れるとすぐにガターなのですが。

初チャレンジだった子は良い結果が得られず悔しそうでした。またやってみたいとも話していて、新しい体験に挑む楽しさを知ってもらえたのではないかと思います。

（菅原 雅史）

リリーベル活動報告

暑さ厳しき折ではございますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。昨年に引き続きリリーベルでは、7月に入り連日の猛暑の影響で、外での活動を控え室内の活動が多くなってきました。その中でも、6月、7月の活動では、野外ではじゃがいも掘り

やザリガニ釣り等をし、室内では色水の実験やお菓子作りなどをしました。今回はこれらの活動の一部を紹介したいと思います。

野外でのじゃがいも掘りでは、一人一株掘る活動をしました。じゃがいもは一株で10個近く収穫する事ができました。子どもたちは一生懸命じゃがいも掘りに取り組み大きいじゃがいもやたくさんのじゃがいもを掘ることができました。子どもたちもたくさん収穫できて喜んでいる姿が印象的でした。



じゃがいも掘り

次にお菓子作りでは、じゃがいも掘りで収穫したじゃがいもや差し入れて頂いたゴーヤを電子レンジで温めてポテトチップス、ゴーヤチップスとして頂きました。新鮮なじゃがいもで作るポテトチップスは美味しくつくれました。また、子どもたちにはあまり人気のないイメージがあったゴーヤチップスについても、すぐ食べきっていました。



ポテトチップスと
ゴーヤチップス

他にお菓子作りとして、クッキーも作りました。クッキーづくりについても、子どもたちが皆で手分けして作業して楽しく作りました。はじめてクッキーづくりに参加した子どもも上手に型をとったりしていました。たくさんクッキーを焼き上げて皆でおいしくいただきました。



クッキーづくりの様子と完成

最後に、色水の実験について報告したいと思います。色水の実験では、赤、黄、青にそれぞれ濃度が異なる砂糖水で色水が層になる様子を観察する実験をしました。色水を層にする段階で上手く行く子どももいれば、混ざってしまう子どももいましたが、実際に層になる様子を観察することができました。色水の実験で使用した砂糖水は、炭酸水とレモンシロップで割ってレモンスカッシュにいただきました。



色水の実験



色水の実験で使用した
砂糖水のレモンスカッシュ

6月、7月のリリーベルの活動報告は以上になります。今後もリリーベルでは子どもたちに寄り添い過ごしやすい空間と『やすらぎ』の場であることを願って、職員一同頑張っております。

暑さ厳しき折から、くれぐれも健康にはご注意ください。
(貞清 裕介)



リリーベルの畑で咲いたひまわりです

中村のとても応援している話

この夏は特に暑い夏となりました。ゲリラ豪雨もあって天候も安定しません…。そんな中、週2回1年以上通っている子で、1日も休まず皆勤賞の子がいます。その子に、「偉いね。暑い中でも休まず来てくれて、ありがとう」と帰り際に話すと、こっくり頷いて帰って行きます。なかなか自分から話すことが苦手な子ですが、毎回頷く時の目が輝いていて、声に出さなくても伝わってくるものを感じました。卒業まであと半年ですが、この先も休まず来てね、と小さく呟く中村でした。ありがとう！



お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL: 042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。